

2018 年 10 月 12 日
長野県松本深志高等学校地学会
顧問 井口智長

第 62 回長野県学生科学賞作品展覧会 入賞の報告

この科学賞は長野県教育委員会と長野県科学教育振興委員会の主催で、9 月 28 日に上田市文化センターで審査を行いました。地学会は 2 作品を出品し、共に入賞いたしました。優秀賞は全 36 作品のうち上位 6 作品（三賞除く）に与えられる賞です。さらに県議会議長賞を受賞した作品は、読売新聞社主催の第 62 回日本学生科学賞に出品されます。

近年の長野県学生科学賞での受賞は、2015 年度の一ノ瀬菜月さんの「枕状溶岩を作ろう～身近なもので再現実験」の優秀賞、2017 年度の上条藍悠くんの「山岳が夕立に及ぼす影響」の県教育委員会賞です。

「松本市街地の雲海」小俣いつ子，藤井遥香
優良賞

「北アルプスが夕立に及ぼす影響」上条藍悠
県議会議長賞